

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373100722
事業所名	グループホーム安城福釜の家

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会長は頻繁に情報を届けてくださり、また町内行事も年間で教えてもらえ、予定を立てやすく助かっています。開設から17年間で構築した関係は堅固で、川掃除や盆踊り等行事前になると案内葉書も届き、祭りでは子どもたちの神輿も立ち寄ってくださっています。これまでも小・中・高の福祉体験を受入れてはいますが、本年は大学生の訪問があり、今後も歓迎していきたいとしています。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 運営推進会議は、行政や地域を交えて隔月開催が慣行され、また3ヶ月に1度開催している「身体的拘束適正化検討委員会」の協議内容も報告しています。運営推進会議では「起こったことをすべて話す」ことを旨とし、透明性の高い運営を心掛けています。詳らかに現状を伝えていることから出席者の親身な関わりが醸成され、「次はこうするといいいんじゃないか」といった具体的で貴重な助言を得ています。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 安城市高齢福祉課では運営推進会議の担当を決めており、また担当の都合が悪くなった場合にはほかの職員が代理出席くださり、また年度替わりなど交代がある時期には新旧並ぶという丁寧さで、配慮ある対応を受けています。事業所でも「グループホーム部会は皆勤」と、行政の集まりには努めて参加しており、各担当者には現状を理解してもらえ協力関係を築いています。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 面会は1日おきの家族もいて比較的多く、その場で要望も直接言ってもらえています。また面会を話し合う絶好の機会ととらえて、サービス担当者会議をおこなうこともあり、例えば90歳を超えても「本人の思い通りに」との家族の意向を確認して買い物外出を重ねている利用者もいます。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件 ○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。 ○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。 ○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	評価 ○ ○ ○
総合評価		◎

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○	◎	○	◎